

=私たちの活動 4つの柱=
 *制度化と指導員の身分保障
 *専門性と仕事の確立
 *父母と共に学童保育運動の発展
 *全国の指導員との団結と連帯

建交労愛知学童保育支部
支部ニュース

2021. 12. 13.
 NO. 315
 全日本建設交運一般労働組合
 愛知学童保育支部 発行
 名古屋市中川区宮脇町2-99-2

第49回支部定期大会、開催

夏し込とて集んは年 であ択よ投全書は しでこをがも部択
 休たみ意：まな、こ、し形とる票員提案、昨たきと得信全役、議案が賛成多数で採
 み、ま気、つがみそ今、式い採にの、文年 まがる任員員支

10月31日、定期大会を開催し、全ての議案が賛成多数で採

**コロナで困窮
国民は救われず**

ズーム、代議員で議案採択



中の感染状況を考えると、とてもそういう状況ではありませんでした。やむなく、ズームを使い、代議員制の開催となりました。

**代議員の
発言要旨**

北・薄さん
 「緊張ある仕事が続いた。建替えが支えたい。位置づけの動きがある。迎えるが、拡

市川委員長はあいさつで「コロナ感染拡大のなかで、オリピックの開催した政府。命、暮らしを最優先する政治を實現しよう」と、衆議院総選挙の投票を呼び掛けました。田村書記長は、この2年の間で学童保育所の施設が安上がりの施策にとどまっていた、これがハッキリした、と現施策の不備を指摘。私たちの仕事を児童福祉の位置づけを、打ち出し、児童法での位置づけを、運動のしつけ、よう提し、まにしようとする。

大を進めていく」
 緑・佐藤さん
 「チラシ、ニュースを空白学童に配布してきた。交流会に2人参加。できることをやってきたという自信がついてきた。」

名東・鈴木さん
 「脱退した人のリサーチも必要。役員手当手厚くしてもよいのでは。2人の拡大、横のつながりを大事にしたい。」
 天白・稲垣さん
 「5人の拡大したが、加入率は落ちていたが、自分たちの活動を振り返り、他の分会の取り組みもさせてもらって、きめ細やかさを大事にしたい。」
 中川・福井さん
 「ズームで月1回の分会会議。組合費の滞りないよう集めた。交流すること減り、残念だが、対面の会議を増やしたい。」
 千種・高橋さん
 「ウエブで月2回の分会。コミセンを利

用するときもあった。会議では、状況出したい。励ましあってきた。土地確保、借地料の負担が大きい。一人ぼっちの職場作らないようにしたい。」
 港熱田・鈴木さん
 「組合活動知らせる機関誌を6号発行。コロナ禍で勤務する指導員の人数調整で、減収にさせないよう取り組んだ。体制要求をしっかりと出して行きたい。」
 守山・浅井さん
 「区との懇談で、学童の代わりにならぬ、ワクチンの優先種など訴えた。分会は、ズームで途切れずやってきた。つながりが弱くないようにしたい。」
 中村・川原さん
 「時給者の組合費2%はありがたい。50人をめざし、脱退する人を減らす努力も必要。一人ひとりを大事にした分、活動をめざしていき

(裏面に続く)

大規模化など厳しい実態

ズームで支部交流会

の場となりました。参加者の感想を紹介しました。す。

東・石川さん

「状況に応じて対面での分會も実施。やり続けることが大事だ。春闘では体制充実を訴えた。初任給がアップしたが、一時金でダウン。学習では、講師が資料を準備し、力量がついてきた。」

瑞穂南・細川さん

「春闘で時給者を千円まで引き上げ。月給者もベア1万円を獲得した。継続協議の事項も残った。カンファレンスをズームで実施など工夫したが、難しさもある。」

春日井・浦野さん

「拡大のために研修の時にパンフレットを配った。市交渉では待機児童問題が10年以上続いていることが大きな問題。父母会運営の学童にキャリアアップ補助金を付け、選ばれる仕事になるように訴えた。」

昭和・松原さん

「大規模化での悩み。支

援の単位分けても職員が足りない。一方で子どもが少なくなれば、子どもに目が届くことができる。何を大事にするか、それを要求につなげていきたい。」

中西・宿利さん

「コロナで保育行事が中止に。感染の心配から退所する家庭もあった。拡大ではパートに声をかけていっている。小さい分會だが、お互いの状況を出し合い、学びあっている。」

静岡・青島さん

「組合員が減り、拡大を重視していききたい。6年やってようやく20万円に届いた。若い人が入っていないので、こういう事をやれるか、活かせる事を学んでいきたい。」

他に、各専門部、中央本部委員長、全国学童保育部会長の発言もありました。

各種表彰の分會とみなさん

○組合員歴の顕彰

- 10年： 淵上未来（名東）
亀井達也（四役）
浦野香織（春日井）
加藤充浩（四役）
吉原敬（瑞穂南）
光成文香（瑞穂南）
夏目基成（名東）
今井香織（名東）
- 15年： 鳥居民子（中村）
小武祥子（春日井）
斎藤陽子（天白）
松原進（昭和）
- 25年： 片桐雅恵（緑）
根岸民江（中村）
鈴木美鈴（瑞穂南）
新井秀樹（四役）
- 35年： 田村一志（四役）

○機関誌表彰 東分會 港熱田分會

○組織拡大（昨年9月1日より純増）

- 名東分會（24⇒25）
- 天白分會（15⇒19）
- 中村分會（13⇒15）

11月22日、ズームで支部交流会を開催し、61人が参加しました。

前半は、みんな分會紹介、クイズ大会をおこない、後半は10のグループに分かれて交流会で楽しみました。

昭和・猪飼さん

「久しぶりに皆さんにお会いできてうれしかったです。全体のところは、楽しい企画を考えたくださってありがとうございました。」

北・加藤さん

「私の学童が建替え中だったので、そのことを聞いたら、うちと同じような苦労をされていて、参考になったし、ウチばかり大変だと思っていたので元氣になりました。」

コロナで、分會でも交流することが難しくなり、支部でも定期大会や指導内容研究交流集會で顔を合わせる機会がなくなり、今回の催しが貴重な交流

グループでは、新井さんが仕切ってくださいだったので話しやすかったですし、聞きやすかったです。あのような機会がなければ話せなかった方とも交流ができましたし、他区の行事（トーチ）の開催方法の状況が聞けたことがありがたかったです。経験年数の長い方の考え方は、参考にな

それと、分會の雰囲気の話になりました。中村と、守山の方はいい雰囲気の中で、みんなが話しやすい空気を作るのなかなか難しいところもあって、悩んでいる方がみえました。あとは趣味の話で、マンガの話で盛り上がりました。」